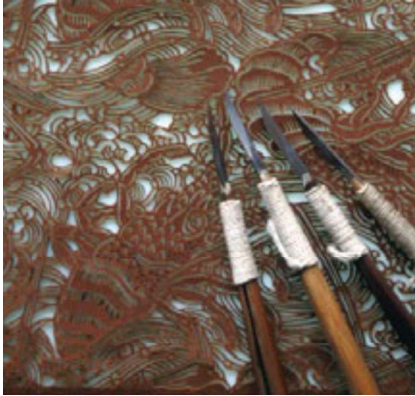


伝統産業

Traditional industry

脈々と受け継がれる「匠の技」

1,000年以上の昔から引き継がれた技術の「粋」を結集した伊勢型紙と鈴鹿墨は、経済産業大臣指定の伝統的工芸品です。現在も脈々と引き継がれる一方、その技術を生かした新しい商品も開発されています。



伊勢型紙

友禅や小紋などの柄・文様を着物の生地に染める際に用いる型紙。3枚の和紙を柿渋で張り合わせて加工した型地紙に、職人が多くの種類の彫刻刀を使い、熟練した技術で彫り抜いていきます。



鈴鹿墨

鈴鹿の山々の松などを燃やして生じる煤を使って、奈良時代後期にはすでに墨作りが行われていたと伝えられています。発色が良く上品で深みがあるのが特徴で、墨としては日本で初めて伝統的工芸品に指定されました。



伝統産業会館

「伊勢型紙」と「鈴鹿墨」の歴史や製造過程、道具などが公開されています。江戸期から現在までの名匠による作品を生で見られる貴重な施設です。「伊勢型紙」、「鈴鹿墨」を使ったワークショップを楽しむことができます。

農産物

Agricultural products

豊かな自然に育まれた逸品

県下有数の工業都市であると同時に、豊かな自然が今もなお残る鈴鹿市は、大地の恵み、海の恵みを受けた農・水産業が盛んです。茶栽培も多く、中でも収穫前に覆いをかぶせる「かぶせ茶」は、上質なお茶として人気があります。

お茶

緑あふれる鈴鹿山脈の伏流水で育った鈴鹿の茶葉。全国第3位の生産量を誇る三重県の中でも、有数の産地である「お茶どころ鈴鹿」の「かぶせ茶の一番茶」は、贈答品としても知られています。



植木

鈴鹿市は、全国有数の植木生産地です。特に、ツツジやサツキは盛んに栽培され、全国でも有数の生産量を誇っています。毎年4月には、「鈴鹿市植木まつり」が開催され、植木を買い求める多くの人でにぎわいます。



卵

鈴鹿市の鶏卵生産者が大切に育てた「鈴鹿山麓おいしい赤たまご」が人気。県内でも生産量トップを誇ります。黄身はこんもりしていて、ほのかなオレンジ色。コクのあるおいしさです。



海苔

鈴鹿市では、秋季の中ごろから海岸線に養殖用の網が張られ、冬季の間に摘み取りが行われます。ビタミンやミネラル、食物繊維など栄養豊富で、昔からなじみ深い食材です。

